

町の未来への指針。主要事業紹介

町制施行 50 周年の節目の年、令和 2 年度の主な事業を紹介します。

共生社会の実現

多様性を尊重する社会

共生社会推進懇談会を設置し、(仮称) 共生社会推進条例の制定に向けて理解促進に努めます。また、心のバリアフリーやユニバーサルデザインのまちづくり等の取組を進めるため、地域福祉計画を策定し、共生社会の実現をめざします。



学校トイレ洋式化

快適な学校生活

小中学校のトイレを順次、洋式化を図ります。今年度は唐沢小学校東側、竹間沢小学校、上富小学校の改修工事を行います。藤久保小学校では、洋式便器の一部付け替え工事を行い、子どもたちの生活環境の改善を図ります。



子ども貧困対策

子どもの将来の幸せ

子どもの将来が生まれ育った環境に左右されず、また、貧困の連鎖が起きないように貧困対策は重要です。今年度、実態調査を行うとともに、子ども食堂を始めたい人に、セミナー開催や相談など立ち上げの支援を行います。



健康長寿

健康保持と増進

健康長寿事業の 5 年間の成果を受け、「Health For All in みよし」(全ての人々に健康を【通称】Health for All) を実施します。埼玉県コバトン健康マイレージ事業への参画、乳がん検診無料クーポンの対象拡大も行います。



スポーツ推進と連携

スポーツに親しむ

みよしジュニアハンドボールチームの運営、小学校でのハンドボール教室などを継続実施。指定管理者が変更する総合体育館はスムーズに移行し、電子マイカルテの導入により個別の計画提案などを行い、利用者拡大を図ります。



芸術文化のまちづくり

ピアノの再活用

町内に眠ったままで使われなくなったピアノを新たに募り、町でリフレッシュを行います。公共施設のロビーなどに設置して、誰でも弾ける「ストリートピアノ」を実施し、さらに芸術文化の推進を図ります。



町制施行 50 周年事業

次の 100 周年に向けて



次の 100 周年に向け未来のまちづくりを創造する機会として、50 周年記念事業を展開します。7 月 7 日にオリンピック聖火リレーが町を通過するにあわせ、(仮称) 町制 50 周年記念音楽祭を開催し、歴史的な日を祝います。11 月 3 日町民の日には、町制施行 50 周年記念式典を行い、節目における新たな一歩を国内外に発信します。また、町の魅力を SNS で発信する三芳アンバサダーの設置や記念ガイドブックの配布、ご当地ナンバープレートの導入など郷土愛を深める事業を進めます。さらには、50 年前からの町の出来事を振り返る展示や記念講演会、既存事業に 50 周年記念事業の冠をつけて実施するなど、町全体で 50 周年を盛り上げていきます。

オリンピック・パラリンピック

記憶に刻む歴史的イベント



オリンピック聖火リレーでは、万全の警備のもとルート沿いで声援を送り、記憶に刻む歴史的なイベントを盛り上げます。オリンピックでは、県内開催の競技を小中学生が観戦できる学校連携観戦事業を行い、子どもたちの心にレガシーを遺します。また、オランダ、マレーシアのホストタウンとして、事前キャンプの受け入れや選手との交流の機会を設けて国際理解を深める場を創り出します。また、パブリックビューイングを実施し、マレーシアの共生社会ホストタウンとして、心のバリアフリー、ユニバーサルデザインのまちづくりの理解を深めていきます。さらに、地元の大崎電気株式会社から多くの選手が選ばれているハンドボール日本代表を町を挙げて応援します。

障がい者福祉

誰もが幸福な社会へ

「太陽の家」の役場敷地内への移転に着手します。企業や団体にあいサポート運動を広げるとともに、パラリンピックを契機に共生社会の実現をめざし、講演会を開催します。聴覚障がい者緊急対応システムや手話講座も継続します。



高齢者福祉

ずっと元気で過ごす

「高齢者にやさしいまちづくり懇談会」を継続し、高齢者福祉施策の充実にも努めます。その他、介護予防教室や認知症サポーター養成講座など様々な事業を展開し、安心して暮らし続けることができる地域づくりに一層努めます。



子育て支援

安心できる子育て

第 2 期子ども・子育て支援事業計画がスタート。産後ケア事業では新たにアウトリーチ型の支援を実施します。「よみ愛」ブック LOVE も継続し、「よみ愛・読書のまち」ならではの子育て支援に努めます。



GIGA スクール構想

教育での ICT 活用

子どもたち一人ひとりの学習効果を高め、情報活用能力の向上を図るため、今年度は GIGA スクール構想の実現に向けて、小中学校のネットワーク環境、校内 LAN におけるギガ対応の整備に着手します。



英語教育の推進

英語力向上へ

英語検定試験の検定料補助を、中学生に加え、小学校 5・6 年生まで対象拡大。また「イングリッシュルーム」を全小学校に設置するとともに、三芳版英語村も実施。外国語のコミュニケーション能力向上と国際理解教育を推進します。



協働のまちづくり

多分野での住民参画

第 3 次協働推進計画がスタート。地域包括ケアシステムの構築に向けた「ささえあい みよし」の協働など多様な分野での住民参画が進んでいます。今後、住民参加の促進と多様な主体の連携を推進していきます。

